令和7年4月8日　第1号

蕨市立東中学校

東中だより

目 指 す 学 校 像　生徒一人一人を大切にし 信頼される学校
キャッチフレーズ　蕨東の あいさつ一つで笑東へ

生徒数(名)
男子 195
女子 180
計 375

令和7年度のスタート

校長 阿部 仁

～新年度のはじまりにあたり～

寒暖差が大きかった3月下旬から一転して、ここ数日は春から初夏の陽気となり、季節が一気に進んだ中で令和7年度を迎えました。本校に着任して2年目となる今年も、「生徒一人一人を大切にする信頼される学校」の実現に向けて、職員一同頑張ってまいりますので、本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

～昨年度と大きく変わったこと①～
＜職員の人事異動及び学級数増＞

令和7年度は、本校にとって施設設備面や教育活動実施の上で、大きく変わる点がいくつかあります。

まず、裏面に示したとおり、今年度当初の人事異動で、これまで本校で勤務されてきた先生方が本校を去られ、新たに着任される先生方を迎えております。職員が変わることは、前年度までの雰囲気とはまた一味違った環境が創出されることを意味し、新しい東中学校のスタイルが生まれるのではないかと期待しています。

加えて、ここ数年は全学年とも3クラス編制でしたが、今年度は、1年生と3年生が4クラス（新入生と新3年生への転入生が増加）になり、特別支援学級と併せて13学級の体制となりました。それに応じて職員数も微増となっています。

～昨年度と大きく変わったこと②～
＜市教育センター日本語指導教室分室開設＞

施設設備面では、本校1階の「国際理解室」の場所に、「蕨市教育センター日本語指導教室塚越分室」が設置されることになりました。本市に来る外国人児童生徒の日本語指導の充実のために、塚越地区に新たに分室を開設し、手厚い日本語指導を行うこととなったためです。

本校舎内に開設となりますが、教育センター分室なので、専任の職員が常駐して管理することになります。本校の日本語指導教室は、となりの「PTA会議室」を国際理解室と併用する形で運営してまいります。

～昨年度と大きく変わったこと③～
＜e-station（通称 エスタ）開設＞

次に記すことは、本校だけではなく、市内3中学校とも一斉に行われることです。近年の増え続ける不登校生徒への支援充実のために、蕨市では「不登校児童生徒支援のための指針」を策定しました。この中の取組の一つとして、従来の「ステップアップルーム」の機能を更に充実させた形で、生徒の居場所づくり、学びの支援の充実、社会的自立のための支援充実等を目的として、校舎内に専任の教員と支援員を配置した「e-station」と銘打った支援室を開設します。本格稼働は5月下旬から（本日からそれまでの間は、従来のステップアップルームの継続として利用可能）です。詳しくは、後日に改めてお知らせします。

このように大きな変化でスタートしますが、今年度も本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

－ 了 －

UD FONT　ユニバーサルデザインフォントを使用しています。